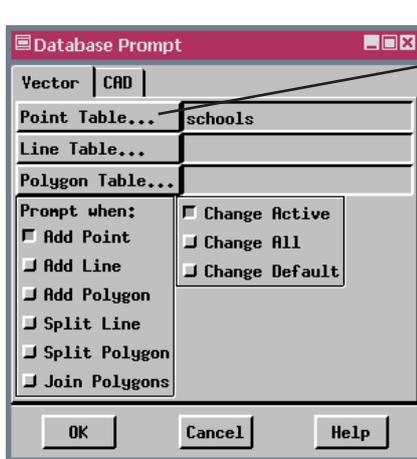


# 空間データエディタのデータベースプロンプト

ご存知でしたか?... 編集中に要素を追加したとき、属性入力用のプロンプトを自動で出すことができます。

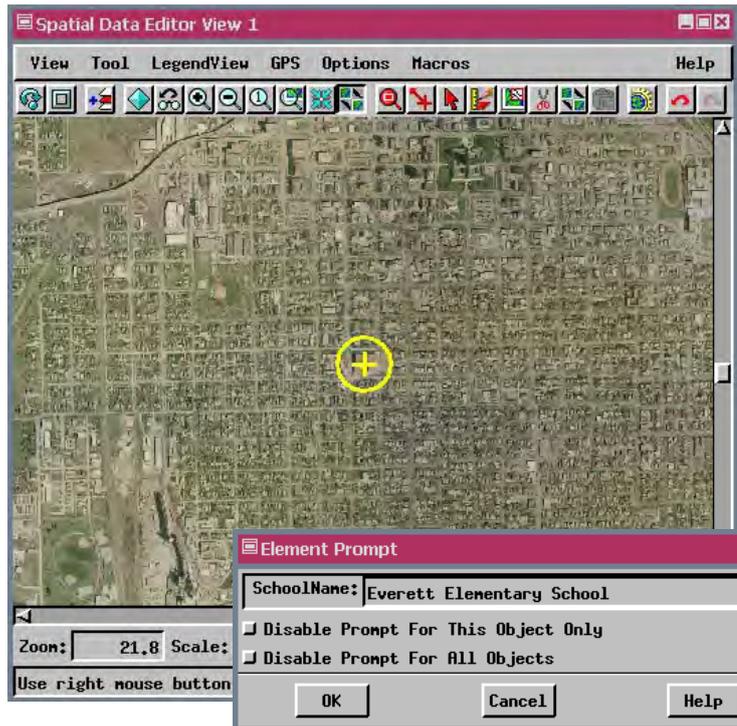
## データベースプロンプトによって...

- 新たに要素を追加したとき、属性項目(値)の入力用プロンプトを自動で出します。
- 編集操作で要素を分割または結合したとき、属性項目(値)の入力用プロンプトを自動で出します。
- 新規レコードが自動的に作られます。
- テーブルを開かずにデータベーステーブルにレコードを入力できます。



要素テーブルボタンをクリックすることで、その要素タイプの〈プロンプト用のテーブル〉を選択 (Select Table For Prompt) ウィンドウが開きます。希望に応じて各要素タイプのテーブルを選択できます。

データベースプロンプトを設定すると、要素の追加の度に属性値を入力するためのプロンプトが出ます。ラインの追加や消去に伴うポリゴンの分割やマージ(結合)の際も、同様にデータベースプロンプトが出ます。



## データベースプロンプトを使う方法

- ベクタまたは CAD オブジェクトを新規作成するか既存のものを開きます。
- 〈空間データエディタ〉ウィンドウで [設定 (Setup)]>[データベースプロンプト (Database Prompt)] を選択します。
- 希望する要素タイプのテーブルをクリックします。
- 既存のテーブルをクリックするか、他のオブジェクトからテーブルを追加、または新規のテーブルを作成します。
- 選択した要素タイプについて“プロンプトのタイミング (Prompt when)”のトグルをオンにします。
- 要素を追加または編集して、プロンプトが出たら属性値を入力します。

## さらに知りたいことがあれば...

下記のマニュアルの Edit の章から「データベース編集用のプロンプトの設定 (Setting Up Prompts for Database Editing)」と題されたページをご覧ください

オンラインリファレンスマニュアル



(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
紀伊国屋ビル 1F  
Tel: (03)3623-2851  
Fax: (03)3623-3025  
E-mail: info@opengis.co.jp